

総合学科高等学校における  
個の価値を高める取り組み  
- 教科「産業」の研究開発へ -

筑波大学附属坂戸高等学校長  
服部 次郎

1 本校の概要

本校は、埼玉県中部の坂戸市に所在する筑波大学の附属高校であり、わが国で最初に創設された総合学科高等学校である。平成6年度に、40数年続いた職業学科（専門学科）を改編して総合学科を設置した。

総合学科は、多様な選択科目を開設して、生徒の個性や進路に対応した学習を可能にするシステムである。選択科目を括って系列として示すが、本校では「生物資源・環境科学系列」「工学システム・情報科学系列」「生活・人間科学系列」「人文社会・コミュニケーション系列」の四系列を設定している。

2 総合学科は個の価値を高める教育である

総合学科は、それまでの普通科と職業学科という二つの学科制度に加えて、「第三の学科」として設置され、平成6年度に全国の7校で始まったが、10年後の平成15年度には全都道府県の220校に設置されるまでになった。文部科学省は、近い将来に全国で500校の総合学科高等学校設置を目指している。

総合学科教育の特徴を端的に言うと、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視すること。生徒の個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや成就感を体験させる学習を可能にすることである。

これは、従来の高等学校が、ともすると普通科は大学進学のための受験学力を養成する場として、職業学科は産業現場に対応できる技術・技能を養成する場として、生徒を集団として捉え、画一的・効率的に集団を教育す

るシステムになりがちであったのに対して、総合学科は、生徒を学習する個人として捉え、生徒が個の確立を目指して主体的に学習に取り組む場としての高等学校を作り直そうとする試みであるといえる。

教育課程は、選択制と単位制を原則として編成される。簡単に言うと、卒業までに修得する単位の半分くらいは選択科目で履修する。上級年次になると生徒個人によって時間割が異なり、いわゆるホームルーム単位の集団学習ではなく、個別的学習が中心となる。

### 3 原則履修科目「産業社会と人間」

総合学科の創設によってもたらされた個々の生徒の主体的に学ぶ意志を基本とする学習システムを支えるのは、原則履修科目「産業社会と人間」である。これは総合学科の1年次生に一年間をかけて必修で課せられるガイダンス科目である。高等学校へ入学したばかりの生徒に、自分は「なんのために、なにに向かって、なにを学ぶべきなのか」を考えさせる。つまり高等学校での学習の動機付けを行い、自己の進路への自覚を深めさせる学習をすることがこの科目の目標である。

主な指導単元は、自己を見つめる 職業に就いて考える 社会の見方について考える 自己の進路と履修計画を考える である。

特徴的な学習内容には、「職業人講話」「職場体験」「職業人インタビュー」などがある。現実の職業世界で活躍している職業人を社会人講師として依頼して、直接生徒と交流し指導してもらおう。教員の観念的な職業についての講義よりも、はるかにリアルに生徒は現実の職業生活を感じて、自己の将来の生活や進路について深く考えるようになる。

### 4 教科「産業」の研究開発

近年、若者のフリーター志向や早期離職や無業者の増大が顕著になっている。若い時代

に職業への技能形成や能力開発がなされず、適切なキャリアを形成していない者を多数抱えた世代が将来社会の中堅年代になったときのわが国の活力の低下を憂う声は日増しに強くなっている。人間は、自らの職業を通じて、社会の一員としての責任を果たし、同時に社会の発展に貢献していくという望ましい職業観・勤労観を育成するためのキャリア教育の充実が喫緊の教育課題となっている。

そこで本校では、国語や数学やという各教科・科目の学習の前提として、「なんのために、なにに向かって、なにを学ぶべきなのか」を考えさせる「産業社会と人間」のような科目の充実こそがキャリア教育の確立に必要であると考えた。そして、普通科や専門学科も含めて高等学校教育全体へのガイダンス機能を果たす必修教科として教科「産業」を構想した。

教科「産業」は、「産業社会と人間」「産業理解」「起業基礎」の三科目で構成される。「産業社会と人間」は「自己を見つめ、進路を考え、高等学校での学習計画を作る」ことが目標である。「産業理解」は「現代社会を捉える視点を学習し、社会との関わりで自己の在り方を考える」ことが目標となる。「起業基礎」は「これからの社会で職業人に必要な能力は、既成のマニュアルを読みこなす能力ではなくて、新しい仕事を創造し、自ら経営に関わり、日々仕事を改革していく能力であり、すなわち起業家精神を育成する」ことが目標となる。

## 5 おわりに

上述したことは、本校が現在、文部科学省より研究開発学校の指定を受けて取り組んでいることである。「起業基礎」については、3年計画の1年目であり、開発途上である。

総合学科の創設については、本校編「総合学科を創る」(学事出版)を参照されたい。また、本校ホームページ([URL] <http://w>

ww.tsukuba.sakado.saitama.jp)も参照されたい。

総合学科高等学校は、個の価値を高めることを目標にして、高校教育の再生に取り組んでいる。ご理解とご支援をお願いします。



「職業人講話」福祉施設を運営する職業人の講話を聴く。



「菜園を作る」一人一区画の畑に、枝豆とトウモロコシを植えて、自己管理・自己責任を学ぶ。



「経営ゲーム」企業経営のシミュレーションゲームで起業家精神を考える。



「履修計画作成」自分の個性や進路に合った時間割を作成するために思い悩む。

